

一般質問

議員7人

町政を問う

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

■富岡 大志 議員（10ページ）

1. 教育関係の課題に関して
2. 地域通貨に関して
3. 交通安全対策に関して
4. 自治体間連携・交流に関して

■廣嶋 隆 議員（11ページ）

1. 渋川地区広域市町村圏振興整備組合
最終処分場候補地選定について
2. 林道栗籠井堤線について
3. 自治会からの要望について
4. 吉中の休日部活動の段階的な地域移行について

■富岡 栄一 議員（12ページ）

1. 食料自給率関連
2. ふるさと納税について
3. 特殊詐欺の被害防止について

■山畑 祐男 議員（13ページ）

1. 大型商業施設進出について
2. 子どもたちを取り巻く諸課題
(教師を含む)について
3. まちの防災について
4. まちを取り巻く諸課題について
5. 男女共同参画事業について

■金谷 康弘 議員（14ページ）

1. 都市計画関連
2. 機構改革関連
3. 福祉関連
4. 地域の課題

■飯島 衛 議員（15ページ）

1. マイナンバーカードに関して
2. 安心安全対策に関して
3. 八幡山グラウンドに関して
4. 健康福祉の観点から
5. 小・中学生に貸与しているタブレット端末の使用について

■小池 春雄 議員（16ページ）

1. 自治体におけるSDGsの取り組み
2. 自治体カーボンニュートラル
3. 教育環境の充実

本会議の様子を生中継、
録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索



とみおか たいし 富岡 大志 議員



録画映像はこちらをCHECK

中学校の校則見直し支援を

子どもたちの自立促す支援を検討

問 現在ブラック校則が社会問題になり、積極的な見直しが求められている。この校則見直しでは、経済産業省の「^{※1}未来の教室」で^{※2}ルールメイキングという取り組みがある。吉岡中学校でも、この取り組みが実践されるよう支援してほしい。

答 教育委員会事務局 長 未来の教室実証実験のように、ICTを活用して多様な意見に触れることは、子どもたちの視野を広げる学びとなる。校則見直しは最終的に校長の権限だが、多様な考え方で子どもたちの自立を促す支援を検討。

中学生の持ち物約10kg、改善を

答 課題解決のためいろいろ考えたい

問 中学生の持ち物は約10kgある。登下校時の安全面や体への負担に配慮した改善を。

答 教育長 定例の教育委員会の中でも議論されている。引き続き課題解決のためいろいろと考えていきたい。

問 町の「いじめ防止基本方針」が公表されていない。自分の子どもがいじめに遭わないよう町がどう取り組むのか、いじめに遭

答 教育長 指摘のとおり一般に公開してなかった。町の方針が分からないという指摘は真摯に受け止めた

問 町の「いじめ防止基本方針」が公表されていない。自分の子どもがいじめに遭わないよう町がどう取り組むのか、いじめに遭

答 教育長 指摘のとおり一般に公開してなかった。町の方針が分からないという指摘は真摯に受け止めた

ったときに町がどう対応するのか、そういった町の方針が全然分らないのは良くないので、公表すべきでは。

答 教育長 指摘のとおり一般に公開してなかった。町の方針が分からないという指摘は真摯に受け止めた

問 町の「いじめ防止基本方針」が公表されていない。自分の子どもがいじめに遭わないよう町がどう取り組むのか、いじめに遭

答 教育長 指摘のとおり一般に公開してなかった。町の方針が分からないという指摘は真摯に受け止めた

ミニ解説

^{※1}未来の教室
経済産業省の実証事業。デジタル技術を活用した教育方法を模索する取り組み。
^{※2}ルールメイキング
学校の校則・ルールの対話的な見直しを通じて、生徒が主体的に関われる学校をつくっていく取り組み。「未来の教室」実証事業として採択されている。



重い荷物は子どもの健康を損なう恐れがある

問 県内でも電子地域通貨を導入する自治体が増えている。地域内消費の促進・マイナンバーカード取得率向上・キャッシュレス決済の定着を、電子地域通貨の導入で進めることができる。吉岡町でもぜひ導入を。

問 県内でも電子地域通貨を導入する自治体が増えている。地域内消費の促進・マイナンバーカード取得率向上・キャッシュレス決済の定着を、電子地域通貨の導入で進めることができる。吉岡町でもぜひ導入を。

答 町長 以前より庁内で議論を交わし検討を行ってきた。現在は、ランニングコストなどを考慮し導入を見送っている状況。

問 電子地域通貨は高崎市・太田市・桐生市が進めており、そのうち前橋市や渋川市も考えていく。吉岡町はふるさと納税では大幅に出遅れ悔しい思いをしている。今回は出遅れることのないよう、真剣に考えてほしいが、町長はどう考えるか。

答 町長 指摘はもったいなく調査研究し、乗り遅れることなく取り組み始めるよう、前向きに検討していきたい。

答 町長 以前より庁内で議論を交わし検討を行ってきた。現在は、ランニングコストなどを考慮し導入を見送っている状況。



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



録画映像は
こちらをCHECK

町長に提出した 答申書の内容は

答 上野原地区内 の区域を選定

問 最終処分場候補地
選定委員会が町長
に提出した答申書の内
容は。

答 住民課長 上野原
地区の面積が最も
広い区域を選定した。

対象地は西から東へ傾
斜して山林が大部分を
占め、農業用水管など
の地下埋設物や近隣市
町村への影響がなく、
周辺整備の可能性が高
いなどの理由による。

問 候補地の地権者数
は。

答 住民課長 地権者
は約150人。

問 今後の具体的なス
ケジュールは。

答 住民課長 町では
答申を受け、広域
組合に対し、協議を依
頼した。9月中には具
体的な建設候補地案が
町に示される予定。町
では報告を踏まえ、最
終的に町が適地と考え
る候補地案を決定し、
上野原地区における住
民説明会を開催した
い。11月末までの約2
カ月間で、地域からの
要望書の提出や、町か
らのやり取りを行い、
地域からの同意を得
て、町として最終処分
場建設候補地を最終決
定。町議会に報告し、
広域組合に伝える。

問 林道栗籠井堤線の
管理者はどこか。

答 町長 町内には6
の林道が存在。ど
の路線も町が管理して
いる。

問 林道の管理方法は。

答 産業観光課長 定
期的な巡回による、

産業観光課長 定
期的な巡回による、

保全状況や侵入防止ゲ
ートの点検を行っている。
今後の林道の方向
性について見解を。

問 今後の林道の方向
性について見解を。

答 産業観光課長 林
道の延伸について
は、今現在、実現可能
な具体的な方法はな
い。

問 自治会からの要望
書の件数は、平成
28年度から令和3年度
までにそれぞれ何件か。

答 町長 平成28年度
145件、29年度
171件、30年度11
8件、令和元年度98件、
2年度69件、3年度97
件。

問 自治会からの要望
書の優先順位は、
どのような基準か。

答 建設課長 道路な
どの建設関係にお
いて、損傷・不具合に
より危険が確認できる
箇所や被害が発生して
いる箇所の対応を最優
先している。

問 自治会からの要望
書の優先順位は、
どのような基準か。

答 建設課長 道路な
どの建設関係にお
いて、損傷・不具合に
より危険が確認できる
箇所や被害が発生して
いる箇所の対応を最優
先している。

受け皿の地域団体を確保可能か

答 スポーツ少年団を考えている

問 休日部活動の受け
皿となる地域団体を
町では確保できるのか。

答 教育長 町には、
吉中部活動と同じ
競技のスポーツ少年団
が8団体あり、受け皿
となる地域団体の候補
と考える。スポーツ少
年団がない部活動は、
町スポーツ協会専門部
や登録団体などと連携
し、受け皿を整える。

問 保護者負担とクラ
ブ運営費の財源に
町のかかわりが必要で
は。

答 教育委員会事務局
長 スポーツ少年
団の指導者は、謝礼金
がなく、ほぼボランティア
で長年指導をしてい
る。町として指導者の
資格取得などの経費補
助に支援を考えている。



地域団体は、中体連主催の大会に
学校部活動として参加できる



とみおか えいいち 富岡 栄一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

町の農産物の生産状況は

答 販売目的の耕作面積は全体で133ha

問 令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、輸入農産物の不足や高騰で国民の食生活に影響があるが、そこで町の農産物の生産状況・自給率はどうようになってきているのか。

答 令和4年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、輸入農産物の不足や高騰で国民の食生活に影響があるが、そこで町の農産物の生産状況・自給率はどうようになってきているのか。

問 産業観光課長 群馬県はカロリーベース自給率で32%、吉岡町は示していない。町民の食料確保で増産が必要では。

答 産業観光課長 群馬県はカロリーベース自給率で32%、吉岡町は示していない。町民の食料確保で増産が必要では。

問 産業観光課長 増産にあたり、農業委員会を中心に農地の集約や新たな担い手の確保、耕作放棄地の解消に努めている。

問 町内でも稲作が行われているが、コロナ禍の影響により米価が下がっているため、学校給食に米飯給食の増加はできないか。

答 教育委員会事務局 長 米飯給食は週3回以上を目標とし、提供回数65%が米飯給食になっている。今後栄養士と協力し考える。

町民への物価高騰に対する支援は

問 肥料や生産資材高騰に対して、町からの支援は。

答 産業観光課長 肥料は国の対策を注視し周辺情勢などを見極め検討。生産資材などの町独自の支援実施予定はない。

住民税非課税世帯へ5万円給付

問 食料品はもとより電気・ガス・燃料他あらゆるモノの値段が高騰し町民への生活が逼迫しているが、支援は。

答 介護福祉課長 2年連続で住民税が非課税の世帯に対して1世帯当たり5万円を町が現金給付する。

町民への物価高騰に対する支援は

問 町が現金給付する。町の令和3年度のふるさと納税寄付額は群馬県内で35市町村中30番目、この状況を町長としてどのように思っているのか。

答 町長 下位になったのは残念。できる限り策を取りたい。

ふるさと納税寄付

問 令和3年度課税に
よる住民税控除額は2038万円。差し引き584万円のマイナス。

答 町内の特殊詐欺被害は、令和3年3月と令和4年2月で2件の被害があったがそれ以外の被害は。

企画財政課長

問 令和3年度に「特殊詐欺対策電話機等購入補助事業」で24人利用したが、これ以外に利用した総数と、今後被害者を一人も出さない対策は。

答 総務課長 特殊詐欺補助事業は令和2年から総数で32人利用。被害防止対策は、吉岡町防犯委員会や渋川警察署吉岡町交番が中心になり被害防止のための啓発活動を行っている。



高騰が続く肥料（あぐりショップ）